



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 名

上場会社名 東洋電機株式会社

コード番号 6655 URL <http://www.tovo-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 昇光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 加藤 信

TEL 0568-88-1700

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,695	△5.7	51	△30.9	78	△26.3	38	△5.6
25年3月期第2四半期	3,918	5.9	74	△52.9	105	△37.1	40	△60.5

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 104百万円 (117.5%) 25年3月期第2四半期 47百万円 (△49.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.48	—
25年3月期第2四半期	4.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	9,259		5,003		52.9
25年3月期	9,716		4,934		49.8

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 4,901百万円 25年3月期 4,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,124	△1.2	270	2.5	291	△11.3	145	△36.4	16.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	9,388,950 株	25年3月期	9,388,950 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	775,724 株	25年3月期	774,467 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,614,056 株	25年3月期2Q	8,614,609 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、昨年度を底に新政権による景気浮揚策への期待感から円相場や株価が安定し、輸出関連企業を中心に、景況感に明るい兆しが見られましたが、円安や原油高による原材料価格の上昇、欧州の債務危機問題や隣国の経済成長鈍化等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、新エネルギー関連市場など一部の業種で設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、総じて設備投資に対する姿勢は慎重であり、厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、社長直轄組織として国内外における市場開拓部門を設けることにより、新規市場に対する意思決定の迅速化と一層の効率化を図るとともに、既存顧客に係る新規深耕開拓の促進等、積極的な受注活動に取り組んだものの、国内制御装置関連事業に係るエンジニアリング部門および海外制御装置関連事業が不調だったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,695百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少ならびに技術研究費など販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は51百万円(前年同四半期比30.9%減)、経常利益は78百万円(前年同四半期比26.3%減)、四半期純利益は、法人税等合計50百万円を計上したことなどにより、38百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

各セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

① 国内制御装置関連事業

エンジニアリング部門につきましては、印刷制御装置分野は増加したものの、配電盤分野が大幅に減少したことなどにより、当部門の売上高は1,087百万円(前年同四半期比15.4%減)となりました。

機器部門につきましては、新エネルギー関連設備向けなど表示器分野が増加したものの、エレベータ関連センサの在庫調整による減少などセンサ分野が不調だったことなどにより、当部門の売上高は1,018百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

変圧器部門につきましては、新エネルギー関連市場向け乾式変圧器ならびに受配電用乾式変圧器の需要が伸長したことなどにより、当部門の売上高は973百万円(前年同四半期比13.7%増)となりました。

以上の結果、国内制御装置関連事業の売上高は3,079百万円(前年同四半期比3.8%減)となり、セグメント利益は、収益性の悪い配電盤分野の売上高が減少したことなどにより、118百万円(前年同四半期比14.9%増)となりました。

② 海外制御装置関連事業

海外制御装置関連事業につきましては、日系企業および中国企業向けの受配電盤が大幅に減少したことなどにより、当事業の売上高は282百万円(前年同四半期比16.7%減)となり、セグメント損失は48百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

③ 樹脂関連事業

樹脂関連事業につきましては、前年半ばまでのエコカー補助金制度に伴う需要が剥落したことなどにより、当事業の売上高は333百万円(前年同四半期比11.7%減)となり、セグメント利益は、12百万円(前年同四半期比2.9%減)となりました。

(セグメント別売上高：参考値)

(単位：百万円未満切捨)

区分	平成25年3月期 第2四半期		平成26年3月期 第2四半期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	百万円 3,201	% 81.7	百万円 3,079	% 83.3	百万円 △121	% △3.8
エンジニアリング部門	1,285	32.8	1,087	29.4	△197	△15.4
機器部門	1,059	27.0	1,018	27.6	△41	△3.9
変圧器部門	856	21.9	973	26.3	117	13.7
海外制御装置関連事業	339	8.7	282	7.7	△56	△16.7
樹脂関連事業	377	9.6	333	9.0	△44	△11.7
合計	3,918	100.0	3,695	100.0	△222	△5.7

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ457百万円減少し、9,259百万円となりました。

流動資産は、588百万円減少の6,280百万円となりました。これは主に、たな卸資産が184百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が702百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、131百万円増加の2,979百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加95百万円および無形固定資産の増加18百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ526百万円減少し、4,255百万円となりました。

流動負債は、338百万円減少の2,968百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少278百万円および未払法人税等の減少55百万円などによるものであります。

固定負債は、187百万円減少の1,287百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が36百万円増加したものの、長期借入金が236百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、5,003百万円となりました。

これは主に、為替換算調整勘定が58百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成25年11月1日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,547	1,909,080
受取手形及び売掛金	3,698,299	2,995,577
商品及び製品	246,761	309,209
仕掛品	472,519	624,142
原材料及び貯蔵品	355,977	326,419
繰延税金資産	111,089	81,318
その他	34,062	34,646
貸倒引当金	△380	△313
流動資産合計	6,868,876	6,280,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	516,577	498,965
土地	1,109,287	1,200,354
建設仮勘定	—	36,855
その他(純額)	274,208	259,415
有形固定資産合計	1,900,073	1,995,590
無形固定資産		
土地使用权	184,322	212,082
その他	59,613	50,148
無形固定資産合計	243,935	262,230
投資その他の資産		
投資有価証券	338,542	334,396
繰延税金資産	181,452	197,150
その他	188,730	194,975
貸倒引当金	△4,839	△4,839
投資その他の資産合計	703,886	721,682
固定資産合計	2,847,896	2,979,503
資産合計	9,716,772	9,259,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,481,891	1,203,254
短期借入金	1,246,764	1,290,173
未払法人税等	102,225	46,796
賞与引当金	175,880	125,646
製品補償引当金	15,000	15,000
その他	285,761	287,750
流動負債合計	3,307,522	2,968,621
固定負債		
長期借入金	680,934	444,715
長期未払金	68,020	77,506
繰延税金負債	5,371	5,371
退職給付引当金	422,429	458,483
役員退職慰労引当金	169,950	178,178
その他	128,464	122,932
固定負債合計	1,475,171	1,287,187
負債合計	4,782,694	4,255,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,085	1,037,085
資本剰余金	857,405	857,405
利益剰余金	3,065,816	3,070,052
自己株式	△177,281	△177,639
株主資本合計	4,783,025	4,786,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,166	45,960
為替換算調整勘定	9,640	68,539
その他の包括利益累計額合計	52,806	114,500
少数株主持分	98,246	102,371
純資産合計	4,934,078	5,003,776
負債純資産合計	9,716,772	9,259,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,918,257	3,695,398
売上原価	2,885,739	2,648,031
売上総利益	1,032,518	1,047,367
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	55,928	64,431
給料手当及び賞与	273,516	310,244
賞与引当金繰入額	48,253	50,184
退職給付費用	19,583	21,967
役員退職慰労引当金繰入額	24,568	10,443
福利厚生費	80,313	94,543
旅費及び交通費	41,747	43,801
減価償却費	29,394	29,321
賃借料	26,670	27,734
技術研究費	45,028	53,188
その他	312,701	289,792
販売費及び一般管理費合計	957,706	995,651
営業利益	74,812	51,715
営業外収益		
受取利息	671	1,043
受取配当金	10,662	11,624
受取賃貸料	9,064	10,150
生命保険配当金	21,454	—
為替差益	—	17,578
雑収入	9,934	7,267
営業外収益合計	51,787	47,663
営業外費用		
支払利息	13,082	14,298
不動産賃貸原価	5,633	6,951
雑損失	2,001	126
営業外費用合計	20,717	21,376
経常利益	105,882	78,002
特別利益		
固定資産売却益	14	0
投資有価証券売却益	—	3,848
特別利益合計	14	3,848
特別損失		
固定資産除却損	205	3,512
投資有価証券評価損	30,494	—
特別損失合計	30,699	3,512
税金等調整前四半期純利益	75,197	78,338
法人税、住民税及び事業税	11,706	37,765
法人税等調整額	22,233	12,543
法人税等合計	33,940	50,308
少数株主損益調整前四半期純利益	41,256	28,030
少数株主利益又は少数株主損失(△)	397	△10,535
四半期純利益	40,858	38,565

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,256	28,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,922	2,794
為替換算調整勘定	15,652	73,560
その他の包括利益合計	6,730	76,354
四半期包括利益	47,986	104,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,708	100,259
少数株主に係る四半期包括利益	3,277	4,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

平成26年3月期 第2四半期決算短信（参考資料）

東洋電機株式会社

1. 経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、昨年度を底に新政権による景気浮揚策への期待感から円相場や株価が安定し、輸出関連企業を中心に、景況感に明るい兆しが見られましたが、円安や原油高による原材料価格の上昇、欧州の債務危機問題や隣国の経済成長鈍化等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、新エネルギー関連市場など一部の業種で設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、総じて設備投資に対する姿勢は慎重であり、厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、社長直轄組織として国内外における市場開拓部門を設けることにより、新規市場に対する意思決定の迅速化と一層の効率化を図るとともに、既存顧客に係る新規深耕開拓の促進等、積極的な受注活動に取り組んだものの、国内制御装置関連事業に係るエンジニアリング部門および海外制御装置関連事業が不調だったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,695百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少ならびに技術研究費など販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は51百万円（前年同四半期比30.9%減）、経常利益は78百万円（前年同四半期比26.3%減）、四半期純利益は、法人税等合計50百万円を計上したことなどにより、38百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

①連結

（単位：百万円未満切捨、%）

	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	3,566	3,699	3,918	3,695	△222	△ 5.7
営業利益	50	158	74	51	△ 23	△ 30.9
経常利益	65	168	105	78	△ 27	△ 26.3
四半期純利益	△ 1	103	40	38	△ 2	△ 5.6

②個別

（単位：百万円未満切捨、%）

	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	3,056	3,163	3,169	3,177	8	0.3
営業利益	44	96	33	64	31	93.3
経常利益	88	138	86	101	14	16.9
四半期純利益	26	84	77	67	△ 10	△ 13.0

③セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨、%）

区分	平成24年9月期		平成25年9月期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	3,201	81.7	3,079	83.3	△121	△ 3.8
エンジニアリング部門	1,285	32.8	1,087	29.4	△197	△ 15.4
印刷制御装置分野	233	6.0	291	7.9	58	25.1
監視制御装置分野	445	11.4	370	10.0	△74	△ 16.7
搬送制御装置分野	152	3.9	95	2.6	△57	△ 37.6
配電盤分野	454	11.6	329	8.9	△124	△ 27.4
機器部門	1,059	27.0	1,018	27.6	△41	△ 3.9
空間光伝送装置分野	167	4.3	163	4.4	△ 3	△ 2.2
センサ分野	745	19.0	697	18.9	△47	△ 6.4
表示器分野	146	3.7	156	4.3	10	7.0
変圧器部門	856	21.9	973	26.3	117	13.7
海外制御装置関連事業	339	8.7	282	7.7	△ 56	△ 16.7
樹脂関連事業	377	9.6	333	9.0	△44	△ 11.7
合計	3,918	100.0	3,695	100.0	△222	△ 5.7

2. 財政状況

総資産の減少要因は、流動資産におけるたな卸資産が184百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が702百万円減少したこと、固定資産における有形固定資産が131百万円増加したことなどによるものです。

純資産の増加要因は、為替換算調整勘定が58百万円増加したことなどによるものです。

①連結 (単位：百万円未満切捨)

	平成25年3月期	平成25年9月期	前期比増減
総 資 産	9,716	9,259	△457
純 資 産	4,934	5,003	69
自 己 資 本 比 率	49.8%	52.9%	—
1株当たりの純資産	561円36銭	569円00銭	—

②個別 (単位：百万円未満切捨)

	平成25年3月期	平成25年9月期	前期比増減
総 資 産	8,523	8,113	△410
純 資 産	4,598	4,634	35
自 己 資 本 比 率	54.0%	57.1%	—
1株当たりの純資産	533円86銭	537円97銭	—

3. キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ、172百万円減少いたしました。

営業活動の結果得られた資金288百万円の主な内訳は、売上債権の減少および税引前四半期純利益などによるものです。

投資活動の結果使用した資金218百万円の主な内訳は、定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出などによるものです。

財務活動の結果使用した資金240百万円の主な内訳は、長期借入金の返済による支出などによるものです。

①連結 (単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期	平成25年9月期	平成25年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	249	288	530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 218	△ 76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 131	△ 240	△ 12
現金及び現金同等物の期末残高	861	1,062	1,234

②個別 (単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期	平成25年9月期	平成25年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	180	377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 33	10	△ 275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 156	23
現金及び現金同等物の期末残高	619	667	633

4. 配当状況

当社の株主に対する利益還元につきましては、経営の重要施策として位置付けており、財務体質ならびに経営基盤の強化を図りつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本としております。

従いまして、当連結会計年度における配当金につきましては、中間配当として1株あたり4円、期末配当は4円の予定で、年間8円とさせていただきます。予定であります。

なお、内部留保資金につきましては、経営環境の変化に対応できる企業体質の確立と、今後の事業展開に向け、既存事業の体質強化、新事業・新技術の開発促進、経営効率の向上を図るための投資などに活用し、さらなる事業競争力の強化に取り組んでまいります。

5. 設備投資状況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの設備投資は、業績を勘案しつつ設備投資を実施し、将来に向けた必要最小限の設備投資を実施しました。

主な投資内容は、国内制御装置関連事業および海外制御装置関連事業における生産設備の更新等です。

なお、下期の設備投資につきましては、春日井工場内新工場およびThai Toyo Electric Co., Ltd. 新工場の建設、その他生産設備の更新や老朽化設備の改修等を中心に、今後の業績等を勘案しつつ進めてまいります。

①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期 (実績)	平成25年9月期 (実績)	平成26年3月期 (下期見込)	平成26年3月期 (通期見込)	平成25年3月期 (実績)
設備投資	66	17	419	437	128
減価償却額	80	78	83	161	169

②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期 (実績)	平成25年9月期 (実績)	平成26年3月期 (下期見込)	平成26年3月期 (通期見込)	平成25年3月期 (実績)
設備投資	23	4	232	236	37
減価償却額	46	40	53	94	96

6. 研究開発状況

当第2四半期連結累計期間の研究開発は、主に国内制御装置関連事業および樹脂関連事業において、事業戦略に合致した新市場への新製品開発を推進するとともに、テーマごとに優先度を検討し、効率的な開発活動に取り組んでまいりました。

主な研究開発は、無線センサーネットワーク技術の研究など将来に向けた新技術の研究などテーマごとに大学などの研究機関や民間企業との共同研究を積極的に推進し、研究開発の迅速化、効率化に努めてまいりました。

なお、下期の研究開発につきましては、今後の業績を勘案しながらも、将来に向けた新技術や新製品の開発に取り組む、市場ニーズに対応した新製品の早期提供に努めてまいります。

①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期 (実績)	平成25年9月期 (実績)	平成26年3月期 (下期見込)	平成26年3月期 (通期見込)	平成25年3月期 (実績)
技術研究費 (製品改良費含む)	82	86	68	154	180

②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年9月期 (実績)	平成25年9月期 (実績)	平成26年3月期 (下期見込)	平成26年3月期 (通期見込)	平成25年3月期 (実績)
技術研究費 (製品改良費含む)	81	79	67	147	178

7. 当期通期の業績予想

通期業績予想につきましては、最近の景況ならびに業績動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表いたしました平成26年3月期の通期業績予想数値（連結・個別）を平成25年11月1日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、下記のとおり修正しております。

①連結

（単位：百万円未満切捨、％）

	平成25年3月期	平成26年3月期予想	対前期比増減額	対前期比増減率
売上高	8,225	8,124	△ 100	△ 1.2
営業利益	263	270	6	2.5
経常利益	328	291	△ 37	△ 11.3
当期純利益	228	145	△ 83	△ 36.4

②個別

（単位：百万円未満切捨、％）

	平成25年3月期	平成26年3月期予想	対前期比増減額	対前期比増減率
売上高	7,071	7,068	△ 3	△ 0.1
営業利益	143	189	45	31.7
経常利益	238	248	10	4.5
当期純利益	216	134	△ 82	△ 38.1

③通期予想セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨、％）

区分	平成25年3月期		平成26年3月期予想		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	6,732	81.8	6,872	84.6	139	2.1
エンジニアリング部門	2,443	29.7	2,441	30.1	△ 1	△ 0.1
印刷制御装置分野	641	7.8	654	8.1	13	2.1
監視制御装置分野	729	8.8	905	11.2	176	24.3
搬送制御装置分野	186	2.3	140	1.7	△ 46	△ 24.8
配電盤分野	886	10.8	740	9.1	△ 146	△ 16.5
機器部門	2,263	27.5	2,234	27.5	△ 29	△ 1.3
空間光伝送装置分野	337	4.1	327	4.0	△ 9	△ 2.8
センサ分野	1,614	19.6	1,592	19.6	△ 21	△ 1.3
表示器分野	311	3.8	313	3.9	1	0.6
変圧器部門	2,025	24.6	2,196	27.0	170	8.4
海外制御装置関連事業	778	9.5	564	6.9	△ 214	△ 27.5
樹脂関連事業	713	8.7	687	8.5	△ 25	△ 3.6
合計	8,225	100.0	8,124	100.0	△ 100	△ 1.2

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上